| 学校番号 | 1015 |
|---|---|

平成 31 年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語科 | 英語表現Ⅰ | 2 | 第３学年 | SELECT(三省堂) |

## 1　担当者からのメッセージ(学習方法など)

・英語表現Ⅰは実用的なコミュニケーションに役立つ英語を身につけることを基本とし、母語でない言語で自分を表現の楽しさ、おもしろさを少しでも感じてもらえるようしたいと考えています。英語の基本的な項目を反復練習することで、今までわからなかったことがわかるようになり、達成感が得られ、やってみようという気持ちになってもらいたいです。

・英語の語彙や文法については、実際のどのように使えるか、ということを意識してください。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。そうすれば、言いたいことも伝わりやすいです。

## 2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語表現Ⅰ」(2 単位)

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目･評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目･評価 |
| ・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分の矢田人のことを紹介することができる。 | 英語表現Ⅰ<br>スピーチ | ・趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、文を書くことができる。 | 英語表現Ⅰ<br>ライティング小テスト<br>定期考査 | ・身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきり話されれば、理解することができる。 | 英語表現Ⅰ<br>リスニング小テスト<br>定期考査 | ・日常生活で多く使われる、簡単で短い文章を理解することができる。 | 英語表現Ⅰ<br>定期考査 |

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。 | | | | |

## 4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期中間まで<br>（１４時間） | 自己紹介<br>挨拶をはじめ自己紹介をする際に用いられる表現をテーマに学習する<br>宇宙で食事<br>古今東西、正解の様々な食文化をテーマに学習する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・be 動詞および、一般動詞の現在形について理解を深める。 | ・積極的に運用しようとする。 | ・間違いをおそれず、表現しようとする。 | ・わからないことに対し、積極的で継続的な学習を続けることができる。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・自分の趣味や関心があることについて発信することができる。 | ・be 動詞、一般動詞の現在形を用いて適切な表現をする。 | ・例文を参考に自分なりにアレンジを加える。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・伝統料理から最先端の宇宙食まで、世界に様々な食文化があることを理解する。 | ・関連した画像・動画などを見ながら、宇宙実験や宇宙での生活について読み、イメージとともに、その内容を理解する。 | ・世界に様々な食文化があることを理解できる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | be 動詞、一般動詞の現在形の用法を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・自分のことを伝える表現（I am ～など）の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| 前期期末まで<br>（１４時間） | 世界で活躍するスポーツ選手をテーマに学習する<br><br>日本の余暇の過ごし方で上位にランクされる旅行をテーマに学習する | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・現在進行形及び、過去進行形についての理解を深め、積極的に運用しようとすることができる。 | ・スポーツ、余暇の過ごし方について積極的に運用しようとする。 | ・間違いをおそれず、表現しようとする。 | ・積極的に発話しようと意欲を見せる。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・この課の言語材料を使用し、「昨日の夜８時にしていたこと」について話すことができる。 | ・現在進行形、過去進行形を適切に用いることができる。 | ・例文を参考に自分なりにアレンジを加える。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・伝統料理から最先端の宇宙食まで、世界に様々な食文化があることを理解する。 | 「未来表現」を用いた文を読み取ることができる。 | ・旅行先として有名な世界の名所等について理解している。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・現在進行形、過去進行形の用法を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・主なスポーツの種類や世界でやつ約するスポーツ選手について理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 後期中間まで<br>１４時間 | アイドルをテーマに学習する<br>伝統文化からサブカルチャーまで、日本文化をテーマに学習する | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 継続及び経験をあらわす「現在完了形」についての理解を深め、積極的に運用しようとする。 | ・間違いを恐れず表現しようとすることができる。 | ・話す、書く、聞く、読む、活動について積極的に運用しようとすることができる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・継続及び経験をあらわす「現在完了形」や「現在完了進行形」についての理解を深め、あらかじめ準備をしていれば、表現できる。 | ・継続及び経験をあらわす「現在完了形」や「現在完了進行形」を用いて適切な表現で書くことができる | ・アイドルや日本の祭りについての説明を読み、その内容について、写真や動画を見せながら、完了形を用いて簡潔に説明する文章を書くことができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・アイドルに関する会話を読んで内容を理解することができる。 | ・関連した画像・動画などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解し、自分の意見を持つことができる。 | ・本文に関連する表現を用いた英文を聞き取り、設問の写真に適する内容を選ぶことができる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・完了形の使い方を理解する。<br>・例示する表現の使い方を理解する。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・完了形の使い方を理解している。<br>・例示する表現の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| 後期期末まで<br>１６時間 | 太陽光発電、風力発電など新エネルギーと環境問題をテーマに学習する<br>世界平和のために必要なこと、世界平和を象徴するもの、国際社会で活躍する団体などをテーマに学習する | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 助動詞の使い方についての理解を深め、積極的に運用しようとする | ・助動詞 can,may,must, have to, should を使い、積極的に運用しようとする | ・聞き取れない箇所や語句があっても、あきらめず、推測するなどして聞き続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・本単元では設定しない。 | ・世界の新エネルギー、日本の新エネルギーについて理解を深める。 | ・本単元では設定しない。 | なし |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・世界のエネルギー事情について関心を深め、理解しようとする。 | ・教科書の写真にあるオバマ大統領のスピーチを聞き、最重要点を理解しようと努める。 | ・解説を聞いて、スピーチの概要やメッセージ理解することができる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・未来エネルギーや平和に関心を持ち、自分なりの考えを持つ。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・助動詞の使い方を理解している。<br>・例示する表現の使い方を理解している。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |